

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100109
事業所名	グループホーム額田あじさいの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	保育園や小学校との交流や毎週木曜日に利用者は近隣の喫茶店に行くなどしている。月1度の老人会が行う歌などの訪問は顔馴染みとなり、利用者の楽しみの一つである。職員は地域包括センターからの依頼で、認知症の介護の仕方など地域の人の相談を受けることがあり助言している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回開催している。今年度から利用者家族が参加しており、家族から要望や意見を聞いて改善している。会議の中で家族から、安心して任せられるので生活にゆとりができたとの声を聞いている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市役所担当者とは、提出書類などの書き方を電話で聞いたり、2か月毎に開催されるグループホーム部会に参加して情報交換をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	年2回の家族懇談会や面会時や電話など、話す機会は多く良好な関係を築いている。毎月利用者の表情がわかる写真入りの便りを家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				